

放送部九州大会出場決定

去る11月1日(木)、沖縄県男女共同参画センター(ていりん)で第40回九州高校放送コンテストならびに校内放送活動研究集会沖縄県大会が開催され、本校放送部がテレビドキュメント部門優秀賞を受賞し、九州大会出場が決定しました。NHK放送コンテスト6年連続全国大会出場を果たした同部がまたやってくれました。

作品のテーマ「きれいの裏側に」は、本校総合学科海洋生物系列で学んでいる生徒たちが丹精込めて育てている本校事務室前の水槽そして魚たちについて(本校HPの最初に出てくるアレです)、その設置の経緯とそこに飼育されている魚たちの管理、育てている生徒たちの思いを取材し、この「水槽」の大切さを広めたいという思いから制作したものです。

今大会では3年生、部長の内村香鈴(うちむらかりん)さん(3-14)と與那覇孝矢(よなはこうや)君(3-14)が制作したもので「制作期間5日間しかなかったが今までの技術やノウハウが活かしてスムーズにいった。作品が編集してできあがっていく過程に達成感がある」と與那覇君。「CDに焼いた後、最後の確認ができなかったので本番で音と映像がずれたりする失敗に気づいた事があったが、新しい発見をすることができた」と内村さんは制作後の感想を話してくれました。

九州大会へは、この作品をさらにアレンジし1年生上原万衣香(うえはらまいか)さん(1-1)と2年金城里佳(きんじょうりか)さん(2-7)が出場し発表します。上原さんは大会への抱負を「鹿児島で賞を取ります!(試合の)過程を見守って優勝を目指します」とし、さらに「個人部門をも見て、今後の勉強にしたいです」と先を見据えたキラキラした目で話してくれました。金城さんは「先輩たちが自分たちが作ってくれた作品を大切にし、さらにもっとよくアレンジして、先輩たちの努力に報いたいです」と力強い表明がありました。

2人へのエールとして内村さんから「他県作品を見て絶対に今後の参考になるので学ぶことが大切!!」與那覇君から「楽しんできてほしい。学んできてほしい」とあり、後輩、放送部の今後についての熱い思いが伝わってきました。

顧問の松川奈津稀先生は「今大会の準備では、なかなか構想が定まらず制作期間実質5日間という不安の中で「初の棄権か」と頭をよぎった。しかし、テーマが決まり制作活動が始まると日に日に仕上がっていった。そのスピード感に驚くとともに、今までの努力が確実に蓄積され、成長につながっていることに喜んだ」とあり、教え子の努力を称える言葉とやさしさがにじみ出る人間味あふれる言葉がありました。

九州大会は12月7日から9日にかけて鹿児島市かごしま県民ホールで行われます。沖水の文化系をリードする放送部。是非、栄冠を勝ち取ってほしいものです。

